

「第42回 千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部会議」

(令和3年10月20日開催)

【知事の指示事項等】

関係部局庁においては、この間、感染拡大の防止を含めて、新型コロナ対応にあたっていただいていることに、まずもって感謝申し上げたいと思います。

本県では9月30日の緊急事態宣言の解除の後、感染の再拡大を防止する観点から、対策の緩和について段階的に行うこととし、10月24日までの間、県民に対する原則21時以降の外出自粛や、飲食店や大規模商業施設等に対する時短営業などの要請を行ってきました。

そのような中で本県の新規感染者数は、昨日12人。直近7日間平均で約17人。

前の週と比較をすると5割程度となり、6日連続で20人を下回る状況です。

昨日時点での病床稼働率は約7.8%。重症者の病床稼働率は約5.6%。いずれも新規感染者の大幅な減少に合わせて、低下をしています。

病床確保計画については、10月7日からは、入院が必要な人は原則としてすべて入院をしていただけるフェーズ2に移行をしています。

感染状況は落ち着いており、また、医療提供体制も、需要に対し十分必要な医療が提供できている状況です。

今後、感染再拡大に備えた医療提供体制の確保等に努めるとともに、感染の拡大防止と、社会経済活動の維持を両立するために、適切な行動制限の緩和等を検討していく必要があります。

そこで本日は10月25日以降の協力要請などについて協議いたします。

千葉市、船橋市、柏市、市長会及び町村会の皆様におかれましては、御多忙のところ御出席をいただき感謝申し上げます。

○ 10月25日以降の協力要請について

10月25日から11月30日までの間、県民の皆様や事業者の方へ、資料のとおり、感染防止対策の実施などをお願いすることとします。

各部局庁においては、本日決定した内容について速やかに周知をし、引き続き御協力を依頼するよう指示します。

○ 病床確保計画におけるフェーズについて・発熱外来の公表について・中和抗体薬の促進について・ワクチン接種の効果について

資料のとおり、病床確保計画におけるフェーズについて、10月21日から印旛、香取海匝、山武長生夷隅、安房、君津、市原の6つの圏域において、フェーズ1に移行することといたします。

また発熱外来については10月22日から千葉県ホームページで公表することといたします。

中和抗体薬治療の促進について、健康福祉部においては、対象者が早期に投与を受けられるよう、速やかに医療機関リストを発熱外来指定医療機関等と共有してください。

ワクチン接種の効果については、これまでの分析結果から、年代によらず、感染防止に高い効果が確認されました。

こうしたワクチン接種の利点について、丁寧に説明をしながら、県民の皆様の接種率の向上に繋がるよう、周知を進めてください。

○ 技術実証について・GoTo イート事業について・サンキューちばフリーパスについて

技術実証やGoTo イート事業などについては、資料のとおり進めることといたします。

これから、ある種未知の領域にもなっまいりますので、そういう意味では市町村の皆様方と連携をしながら、感染拡大の防止と、そして地域経済の回復の両立、しっかり図っていきたいと思っております。

今まで以上に密に意見交換させていただきたいと思っております。

これまでの御協力に改めて感謝を申し上げます。

本日は10月25日以降の協力要請などについて決定をいたしました。

各部局庁においては、本日決定した内容について、県民・事業者の皆様、関係団体、市町村等へ速やかにしっかりと周知を行ってください。

資料のとおり、業種別ガイドライン等を遵守している施設を利用することや、飲酒、飲食の際には短時間で、深酒をせず、大声を出さないことなどの感染防止対策の継続が必要であります。

各部局庁にあっては、職員に対し、引き続きこうした対策の実施を徹底させるよう指示します。